

一般質問通告一覧表

平成29年第2回(6月)

No.1

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める 者
下田 敬三	1 平成29年度施政方針について	<p>農業施策について</p> <p>① さとうきびに係る事業が、既存の単収向上に向けた事業が主となっているが、植付面積を増やす対策はあるのか説明を求める。</p> <p>② 1ヘクタール未満作付農家は、管理、収穫等の作業を委託して経営安定化対策事業の恩恵を受けているが、負担も重く、収益が減少する中で高齢者の離農に拍車がかかっている事も作付面積減少の一因ではと思えるが、町長の考えを求める。</p> <p>③ さとうきびの収穫作業が、ハーベスターでの収穫が8割から9割と年々増えてきている。零細農家を含め手刈面積を増やす必要性はないか説明を求める。</p> <p>④ 6次産業の必要性を述べているが、具体的な内容説明を求める。</p> <p>⑤ 平成28年3月定例会にて基幹作物等と併せた複合経営の必要性を質問したが、リスク回避を含め複合経営の作物を選定し検討すると前向きな回答があったが、その後の対応の説明を求める。</p> <p>⑥ その選定作物として、「菓草」や「しきみ」を加えることはできないか説明を求める。</p>	町 長
迫田 秀三	1 キビ作の振興について	<p>① 今期の生産状況について。</p> <p>② 来期の面積は。</p> <p>③ 農家戸数・面積ともに減少傾向にある。その要因は何だと考えるか。</p> <p>④ 町の基幹作物として、これ以上の減少は何としても避けなければならない。その対策は。</p>	町 長
	2 若者の定住促進について	<p>① これまでの若者定住に向けた取組状況を示せ。</p> <p>② 娯楽施設があれば、という若者の声を聞く。娯楽施設の誘致の考えは。</p>	町 長

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める 者
池山朝生	1 農家の所得向上について	① 「安納芋」を1年間通して販売することによって農家の所得向上につながる。その為には大型貯蔵施設が必要となる。貯蔵施設をつくる考えはないか。	町長
	2 減反制度廃止に伴う水田活用について	① 平成28年度「経営所得安定対策交付金」の実績等、水田農業の現状は。 ② 48年続いた「減反制度」が2018年、来年4月に廃止となる。そのことによる水田農業の動向をどのように捉え、今後の水田農業(活用)をどう進めていくのか。	町長
蓮子信二	1 種子島ティーエムイーエス株式会社との条件変更に係る協議書について	① 産業廃棄物の最終処分場への受入れ条件を、島内に限るから、島外(県内)に変更する協定を結んだことについて、いつどのような理由で結んだのか。 ② 協定書の条件で何を変え、何を付け加えたのか。 ③ 県の許可書には有効期限があるが、協定書にはあるのか、ないのか、付ける考えは。 ④ 今後、処分場の増設の申請があった場合、町としての対応は。	町長
徳永紹道	1 平成30年4月1日より国民健康保険の保険者が中種子町より鹿児島県に移ります。町民にどのような影響がでるか。	① 町が県から割当てられる納付金は、どのように決められるのか。 ② 町は住民にどのように保険税を賦課するのか。 ③ 県は、町の保険給付に必要な財源をどのようにして決めるのか。 ④ 国保は自治事務であり、市町村の判断で住民の生活を守るための方策として一般会計から繰入して、独自の軽減策をとってきたが、町はこれからも一般会計からの繰入などをしていくのか。一般会計法定外繰入は、赤字会計補填だけでなく、高すぎる国保税を安くするためでもある。	町長
	2 特別支援教育支援員の配置について	① 入学式でも遠足でも運動会でも学芸会でも卒業式でも、子どもが出ている日は全て出勤してもらおう体制にするべきではないか。	教育長

質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める 者
濱脇重樹	1 スポーツ合宿について	① スポーツ合宿の受入れが多くなってきているが、今後の方針はどのように考えているのか。 ② 合宿団体への調査等を踏まえ、民間宿泊施設への指導は考えているのか。 ③ サッカー場建設の計画は考えていないのか。	町長
	2 多目的広場使用について	① 農林漁業祭・町民体育祭等で、駐車場としても活用すべきではないか。	町長
	3 ジャンボタニシ対策について	① 町内では多くの水田で発生しつつある。水稲への被害が拡大していると思うが対策は。	町長
日高和典	1 子育て支援について	① 子育て環境の中で、学校は地域の「核」である。人口減少を抑えるには、移住者の確保、また、特に若い子育て世代は地域の支え手として期待され、支援の充実は急務である。現在の取組と今後の課題は。	町長
	2 雇用創出への取組について	① これまでの企業誘致活動への取組状況と、これからの見解は。 ② 6次産業化推進協議会において、農林漁業者を対象に新規事業者の確保を図っているが成果は。	町長
	3 観光振興について	① 人口減少の中、地域の魅力を生かし交流人口の増大を図る事が大切である。観光協会、グリーン・ツーリズム推進協議会と協力して、具体的な事業計画は。 ② 観光対策は種子島全島で考え、国指定天然記念物、阿嶽川マングローブ林から日本の宝・文化庁の広田遺跡ミュージアムへつなぐルートを積極的に取り入れてはと考えるが見解は。 ③ 5月から2人目の地域おこし協力隊員が着任され、本町の情報発信や観光振興に従事している。地域おこし協力隊員と、町民の交流・意見交換の場が少ないとの声を聞くが見解は。	町長

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者
徳 永 留 夫	1 社会教育関連について	① 体育協会における各競技部への助成金は、現状のまま で良いと考えるか。 ② スポーツ合宿での民間宿泊施設利用 (1) 町として「おもてなし」教育の実践の考えは。 (2) 新たな宿泊施設の誘致の考えは。	町 長
	2 旧柏医院跡地について	① どのような利活用を考えているか。	町 長
	3 馬毛島対策協議会について	① 西之表市長が就任後初めての協議会が開催されたよ うですが、その内容は。 ② 会長に八板市長が選任され、協議会としてニュートラ ルな立場で情報を収集し、住民に正確に伝えたいと記 事に載っていましたが、今まで報道されている考えと 一変している。町長の考えは。	町 長